

ユニー・ファミリーマートホールディングス 株式会社



2018年2月期第2四半期決算説明会

2017年10月12日

—注意事項—

本資料の記述には、当社の将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く事業環境等の様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

2017年度上期決算概要・ 通期見通し

代表取締役社長

高柳 浩二

2017年度上期決算概要 ～ 連結業績 (IFRS) ～

『CVS:ブランド転換、GMS:経費削減効果による期初公表超過』

		2016年度 上期	2017年度 上期			
		実績	実績	前年同期比	期初(4/11) 公表差	9/28 修正公表
P/L 単位:億円	営業収益	2,115	6,336	299.5%	55	6,330
	営業利益	201	334	166.3%	88	335
	親会社所有者帰属利益	119	223	186.7%	83	230

【CVS】

- ◆ ブランド転換は計画を上回る実績で推移
 - ・ 転換店舗数 = 1,521店 (累計2,350店)
 - ・ 転換店日商 = 541千円。FM平均531千円を上回る。
- ◆ 統合効果の実現
 - ・ 商品調達コスト低減

※ 参考 : ブランド転換店

- ・ 転換前比日商伸び率=109.8%
- ・ 転換含むFM既存比=101.3%

【GMS】

- ◆ 売上高対販管費比率削減 GMSセグメント上期 (連結) : 33.1% (計画差▲0.9%)
- ◆ 閉鎖コストの削減

2017年度通期見通し ～ 連結業績(IFRS) ～

『次年度以降の飛躍に向けた収益基盤の整備・懸念の払拭』

親会社所有者帰属利益 = 通期見通し310億円

		2016年度通期	2017年度通期	
		実績	見通し	期初公表差
P / L 単位:億円	営業収益	8,438	12,420	47
	営業利益	329	329	△ 83
	親会社所有者帰属利益	215	310	70

【CVS】

- ◆ ブランド転換の着実な実行 = 通期計画2,600店 (下期1,079店・累計3,429店)
 - ・ サークルKサンクス店追加閉鎖 = 295店 (期初計画369店→通期計画664店)
 - ※ FM単純閉鎖400店含め1千店規模

【GMS】

- ◆ (株)ドンキホーテホールディングスとの取組み開始
 - ・ ユニー6店の転換。ユニー閉鎖3店のドン・キホーテへの転換

【HD】

- ◆ 連結納税の実施とCVS事業における店舗等の一部減損処理

2018年度以降の取組み計画

◆ ブランド転換・統合

- ・ ブランド転換 = 2018年8月末迄に完遂、5,000店規模をFM転換
- ・ 統合効果 = 商品・物流に加え、システム統合効果等が上乗せ（2019年度以降80～100億円）

◆ (株)ドンキホーテホールディングスとの資本・業務提携

- ・ 小売事業における協働
 - ユニー店舗の転換 = 効果検証踏まえ、次年度以降の転換店舗数決定
 - ドン・キホーテ流のローコスト店舗オペレーション確立
 - FM店舗のドン・キホーテへの展開
- ・ 人材交流、商品共同開発・共同販促の本格化

◆ 金融サービス事業強化

- ・ 事業会社再編 = UFI FUTECH発足(2017年9月)。ポケットカード社のTOB開始(同10月)
- ・ 金融ビジネスの今後の方向性
 - 電子マネーを中心とした金融サービス事業の強化
 - グループ会社含む取組み(伊藤忠商事・FM・ユニー)

決算補足説明

取締役 常務執行役員 CFO

中出 邦弘

2017年度上期 連結決算概要(IFRS)

		2016年度	2017年度			
		上期	上期		期初(4/11)	9/28
		実績	実績	前年同期比	公表差	修正公表
P/L	営業収益	2,115	6,336	299.5%	55	6,330
	営業利益	201	334	166.3%	88	335
	親会社所有者帰属利益	119	223	186.7%	83	230

単位:億円

◆主な期初公表差要因

- ・C V S 事業における、サークルKサンクスブランドからの転換店舗の好調な推移
- ・G M S 事業における、店舗の経費削減の取組み効果

		2016年度	2017年度上期	
		実績	実績	前期末差
B/S	資産合計	16,670	17,256	585

単位:億円

◆経営統合に伴うのれん 1,857億円

- ・無形資産336億円と(狭義)のれん1,521億円に配分
- ・C V S 事業セグメントにて20年償却 ※2017年度上期無形資産償却12億円

2017年度上期 連結決算概要(IFRS)

(ご参考) 旧ユニーグループHDの2016年度上期実績を含む前年比較

		2016年度 上期 実績	2017年度 上期	
			実績	参考前年同期比
P / L 単位:億円	営業収益	6,350	6,336	99.8%
	営業利益	379	334	88.3%
	親会社所有者帰属利益	190	223	117.4%
(参考)	事業利益	485	419	86.4%

※事業利益 = 営業収益 - 売上原価 - 販管費で算出、日本基準における営業利益相当

◆主な増減要因

- ・営業利益の減少要因 (参考前年同期比88.3%)

C V S 事業における無形資産の償却(12億円)、統合費用(37億円)などの経費増加が主因

- ・親会社所有者帰属利益の増加要因 (参考前年同期比117.4%)

カネ美食品(株)の子会社化による繰延税金負債の取崩しなど

CVS事業 上期決算（IFRS）及び営業概要

		2017年度上期			(ご参考) 2016年度上期
		セグメント計	F M (単体)	台湾 F M	セグメント計
セグメント	営業収益	2,936	2,477	299	
P/L	営業利益	207	155	40	286
単位：億円	親会社所有者帰属利益	124	171	16	

F M：ファミリーマート

C K S：サークルK・サンクス

		2017年度上期			
		F M	前年同期差	C K S	前年同期差
	全店日商(千円)	531	2	395	△ 44
	既存店日商(千円)	532	1	397	△ 41
F M(単体)	日商既存比	99.7%	—	94.3%	—
主要	※ブランド転換店含む既存比	101.3%(533千円)			
営業数値	差益率	27.61%	0.06%	26.45%	0.14%
	出店数	270	△ 147	—	—
	C K S 転換数	1,521	—	—	—

- ・C K Sのブランド転換は前期（829店）を加えた累計で2,350店が完了
- ・転換後の日商はF M平均を上回る541千円（転換前対比109.8%）

GMS事業 上期決算（IFRS）及び営業概要

		2017年度上期			(ご参考) 2016年度上期
		セグメント計	ユニー (単体)	UCS	セグメント計
セグメント	営業収益	3,412	3,020	87	
P/L	営業利益	128	108	18	92
単位：億円	親会社所有者帰属利益	95	86	10	

		2017年度上期	
		実績	前年同期差
ユニー(単体) 主要 営業数値	既存店前年比	98.7%	—
	衣料品	98.7%	—
	住居関連品	100.7%	—
	食品	99.0%	—
	荒利率	23.3%	1.2%
	出店数	0	△ 1
	閉店数	9	△ 4
	期末店舗数	201	△ 15

2017年度 連結決算業績見通し(IFRS)

		2017年度 通期		2017年度 下期	
		見通し	期初公表差	見通し	期初公表差
P/L 単位:億円	営業収益	12,420	47	6,083	△ 8
	営業利益	329	△ 83	△ 5	△ 171
	親会社所有者帰属利益	310	70	86	△ 13
	CVS事業	△ 8	△ 128	△ 132	△ 168
	GMS事業	155	38	59	△ 2
	連結調整及び当社	163	160	159	157
(参考)	事業利益	665	40	245	△ 7

※事業利益 = 営業収益 - 売上原価 - 販管費で算出、日本基準における営業利益相当

◆主な修正内容

親会社所有者帰属利益

- ・下期見通しは、営業数値の見直しをしたものの、実質ベースでは期初公表通り100億円
- ・CVS事業における閉鎖及び台湾FMの決算期調整による影響△14億円
- ・連結納税適用による税メリットの活用。将来の懸念の払拭

【参考】CVS定量計画① (IFRS)

		2017年度通期見通し			
		セグメント計	期初公表差	F M (単体)	期初公表差
セグメント	営業収益	5,556	△ 2	4,749	95
P / L	営業利益	99	△ 116	10	△ 103
単位：億円	親会社所有者帰属利益	△ 8	△ 128	21	△ 89

		2017年度下期見通し			
		セグメント計	期初公表差	F M (単体)	期初公表差
セグメント	営業収益	2,619	△ 64	2,272	39
P / L	営業利益	△ 108	△ 178	△ 145	△ 159
単位：億円	親会社所有者帰属利益	△ 132	△ 168	△ 149	△ 160

【参考】CVS定量計画②

F M : ファミリーマート
C K S : サークルK・サンクス

	2016年度 通期実績		2017年度 通期見通し				
	F M	C K S	F M	期初公表差	C K S	期初公表差	
F M(単体) 主要 営業数値	全店日商(千円)	522	425	524	△ 4	388	△ 20
	日商既存比	100.8%	97.9%	99.9%	△ 1.3%	96.2%	△ 3.8%
	差益率	27.44%	26.25%	27.51%	△ 0.42%	26.38%	△ 0.20%
	出店数	831	-	600	△ 196	-	-
	C K S 転換数	829	-	2,600	-	-	-
	期末店舗数	12,089	4,912	14,739	△ 146	1,650	△ 221

	2016年度 下期実績		2017年度 下期見通し				
	F M	C K S	F M	期初公表差	C K S	期初公表差	
F M(単体) 主要 営業数値	全店日商(千円)	514	410	517	△ 4	382	△ 16
	日商既存比	100.0%	96.3%	100.0%	△ 1.2%	98.0%	△ 4.2%
	差益率	27.33%	26.16%	27.41%	△ 0.40%	26.33%	△ 0.20%
	出店数	414	-	330	△ 220	-	-
	C K S 転換数	829	-	1,079	△ 147	-	-

【参考】GMS定量計画(IFRS)

		2017年度通期見通し					
		セグメント計	期初 公表差	ユニー (単体)	期初 公表差	UCS	期初 公表差
セグメント	営業収益	6,886	55	5,963	△ 125	184	△ 20
P/L	営業利益	232	35	182	40	42	13
単位：億円	親会社所有者帰属利益	155	38	134	36	18	△ 1

		2017年度下期見通し					
		セグメント計	期初 公表差	ユニー (単体)	期初 公表差	UCS	期初 公表差
セグメント	営業収益	3,473	59	2,943	△ 104	97	△ 6
P/L	営業利益	103	8	73	9	23	1
単位：億円	親会社所有者帰属利益	59	△ 2	48	7	8	△ 1

		2016年度 通期 実績	2017年度 通期		2017年度 下期	
			計画	期初公表差	計画	期初公表差
ユニー(単体)	既存店前年比	99.0%	98.7%	△ 0.7%	98.7%	△ 0.7%
	荒利率	23.2%	23.6%	△ 0.1%	23.8%	△ 0.2%
主要 営業数値	出店数	2	1	－	1	－
	閉店数	20	15	－	6	－
	期末店舗数	210	196	－	196	－